

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

動労千葉3・15～16スト

運輸区廃止・乗務員大合理化反対！

～闘いの要求～

- (1) 職名廃止の撤回、業務融合化の中止
- (2) すべての外注業務の再直営化
- (3) 本線運転士の抜本的行路緩和と十分な要員配置、ワンマン運転の中止
- (4) 上総一ノ宮検査派出廃止、木更津派出体制見直しの撤回
- (5) 京葉線快速列車廃止提案、久留里線廃線化計画の中止
- (6) JR貨物の3月ダイ改における諸要求、労働条件の改善、要員不足の解消
- (7) 定年延長と70歳まで働ける労働条件の確立

3月16日のダイ改は鉄道の歴史からいっても重大な攻撃です。これに対して、動労千葉は3月15～16日のストライキに立ち上がる方針を確立しました。

融合化・ジョブローテーションの撤回を

今ダイ改では、習志野・千葉・佐倉・蘇我運輸区の廃止・統括センター化（蘇我は24年度下期）が強行されようとしています。これまで千葉運輸区など「規模が大きくて統括センター化しない」としてきた運輸区も含めて全廃し、統括センター化するという、業務融

合化攻撃のエスカレートです。ジョブローテーションによる強制配転攻撃も、さらなるエスカレートが狙われています。

「勤務地も業務内容もすべて会社が自由に決められる」——これではまともに生活設計もたてられません。労働者の権利に対する重大な攻撃を許すことはできません。

会社の攻撃の破たんの表れ

また、乗務員で標準数53減（他支社からの行路移管がある京葉派出分を除く）という大合理化攻撃でもあります。それは、「短時間行路に管理者等を乗務させて徹底した乗務員の要員削減を進める」という、会社の業務融合化攻撃の破たんでもあります。

鉄道の現業部門も、そこで働く労働者もな

いがしろにする会社の攻撃は早くも破たんし始めています。それは昨年来の相次ぐ重大事故—安全の崩壊としても表れています。

会社は矛盾を現場に押し付けて危機を乗り切ろうとしています。しかし、現場が団結し、職場から声をあげれば、攻撃を打ち破るチャンスでもあります。動労千葉とともに、3月ダイ改・業務融合化攻撃に対し、反対の声をあげよう。

スト貫徹！動労千葉総決起集会

3月16日（土）14時
千葉市民会館 地下ホール